

# 「大阪府高等学校生物教育研究会」協力会だより

第19号（2018年6月）

## 府生物教育研究会創立70周年記念式典・祝賀会に向けて

生物研究会協力会 会長 中野 俊勝

初夏の候、協力会会員の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、協力会の活動に多大なるご理解とご協力を賜っていますことに、厚くお礼を申し上げます。

さて去る5月18日、平成30年度生物教育研究会総会が大阪府立大手前高等学校にて行われ、研究会会長に続いて、来賓として協力会からのご挨拶をしました。

このご挨拶の中で、「1948年（昭和23年）11月に、本日の会場である、大手前高校において、第1回研究会総会が開催されて、以来70年です。この70年間は、研究会に関わってこられた先生方の様々な努力が集積されてきた歴史そのものです。

そして現在、研究会では新旧会員の交代期ですが、若い新委員の方々の参加もふえて来ているとのこと。また、各種財団からの助成金の活用も増えていて、講演会も開催されておられます。このようなエネルギーな活動が一層発展することを心から期待しております。そこで、今年度も協力会会員の皆様の熱い思いを『Heart to Heart』として、助成金を贈ります。」などを話し、研究会寺岡会長に助成金の10万円を贈呈しました。

寺岡会長からは、研究会活動に活用させてもらいますと感謝の言葉がありました。

ところで、すでに「協力会だより」にてお知らせしていますように、また、今回の研究会総会においても府生物教育研究会が創立70周年を迎えるにあたって、関連事業等についての説明がありました。

協力会会員の皆様におかれましては、自分史と研究会の歴史との重なりとして、ご活躍された現職の頃の懐かしい数々の思い出が、新たに甦ってくるのではないのでしょうか。

加えて、研究会活動への意気込みが、脈々と受け継がれていることを感じとられると思います。

つきましては、来る11月17日（土）府生物教育研究会創立70周年記念式典・祝賀会に、協力会会員相互にお誘い合わせの上、また、研究会会員の方々からお声掛けがありましたら、是非多数ご参加いただきまして、回顧談をお聞かせいただくと共に、現役研究会会員との貴重な交流の機会の実現を願っております。

それでは、70周年記念式典当日、協力会会員の皆様とお会いして、ご一緒に祝福できるのを楽しみにしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## ご挨拶

生物教育研究会会長 寺岡 正裕

協力会の皆様、いつもお世話になっています。研究会会長3年目となりました寺岡です。

教育センターが法定研修だけで教員の教科教育力を鍛える研修をしなくなってしまい、理科の名称もセンターから消え去ってしまいました。だからこそ、ここは本研究会の出番と委員の先生方が頑張っていて、昨年度は財団の助成金（橘委員のご助力が大きい）なども活用しながら、大学の先生方による学術講演会や実験研修会を今まで以上に開催し、現場の先生方、実習教員の方々がより深く学習し、大学の先生方と交流する機会を提供してまいりました。

さて、去る5月18日（金）府立大手前高校で行われた研究会総会に協力会からはお忙しいにもかかわらず、中野協力会会長、牧野副会長、辻本事務局長、松本様に出席いただき、さらに助成金までいただき、本当にありがとうございました。

昨年度、平成28年度版の会誌の発行が遅れ、お叱りを受けました。平成29年度版の第45号会誌は各担当が総会までには間に合わせるぞとそれぞれ頑張り、遅れることなく、発刊することができました。会誌的にはしんどいのですが全面カラー版で少しリッチに仕上げることができました。

今年は研究会創立70周年を迎えます。5月の総会までは準備委員会として活動してきましたが総会後は「70周年記念事業実行委員会」として①記念式典実行委員会（平成30年11月17日（土）ビアーレ大阪にて記念式典開催に向け、作業中）、②記念事業実行委員会（指標生物調査A法調査及びB法調査実施中）③研修旅行実行委員会（奄美大島研修旅行（8月8日～8月12日）に向け参加者を確定し、企画進行中）④記念出版編集委員会（実験収録改訂版作成：記念式典に間に合わせるよう現在鋭意作業中）、⑤70周年記念会誌編集委員会（60周年からの10年間のまとめを執筆者も含め計画）と、5つのパートに委員のメンバーを割り振り、努力しているところです。4年後の日本生物教育会全国大会大阪大会へのリハーサル的な要素も動きの中に入れて、若手中心で、ベテランが支える組織体制で記念行事・式典等を成功裏に終える方向で頑張っております。

つきましては研究会の歴史を作ってこられた協力会の皆様のお力添えを是非ともいただきたく存じます。それにより、我々現役も歴史をつくる一端を担いたいと願います。

今後とも本研究会の活動にご理解を賜り、ご支援・ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 事務局より

- ・会費の振り込み、ありがとうございました。まだの方、引き続きよろしくお願い致します。
- ・「協力会だより」19号とオールカラーの研究会誌をお届けします。
- ・本年秋の研究会創立70周年の式典（11月17日）については改めてご案内します。ご都合のつく方、是非ご出席ください。前号では、岡本事務局長の記事を掲載しました。
- ・来年10年になる「協力会」のあり方について検討中です。ご意見ください。

## 1 今年度（2018年）の行事

どの行事も、参加希望者は3日前までに事務局（辻本）へTELかFAXまたはEメールして下さい。詳細をお知らせします。

- (1) **第10回総会**（研究会総会と同日に実施済み） 詳細は下記報告記事  
平成30年5月18日（金）府立大手前高校生物教室  
3時より研究会総会 研究会総会後に記念講演  
講師：同志社大学理工学部環境システム学科 教授 大園 亨司先生  
演題：『授業では役に立たないかもしれない菌類の話：系統・ライフスタイル・生態』  
4：30より協力会総会 5：20より懇親会
- (2) **第10回歴史散歩**（松本先生による案内）  
1、日時：平成30年11月10日（土）  
2、集合：南海河内長野駅改札口 13時00分集合・・・小雨決行  
3、コース：観心寺境内  
4、資料は当日配布、バス代・入山料約1,500円必要  
5、申し込みは11月3日までに事務局辻本まで
- (3) **研究会行事に参加**  
①「森林生態研究部会」の行事  
②「会員研究発表会」 毎年1月下旬から2月初旬に行われる。  
③「生徒生物研究発表会」 毎年11月23日（祝）午前10時から大阪長居公園内  
大阪市立自然史博物館で行われる。研究発表部門と活動報告部門とがある。
- (4) **生物教育研究会70周年式典・祝賀会**  
11月17日（土）にヴィアール大阪で開催

### 《報告記事》 平成30年度 生物教育研究会協力会総会

5月18日（金）午後4時30分から（生物教育研究会総会の後）

出席者：中野、牧野、辻本、松本と賛助会員数名、研究会会員はオブザーバー参加  
次第 （司会 牧野）

- 1、挨拶（協力会会長 中野）
- 2、平成29年度行事報告・会計報告（辻本）
- 3、平成30年度行事計画・会計予算（辻本）
- 4、閉会の挨拶（賛助会員代表 寺岡生物研究会会長）

その後、近くの店で講師を囲んで研究会との懇親会が行われた。

### 《報告記事》 平成30年度 生物教育研究会総会

牧野修司 記

研究会総会と記念講演が5月18日(金)に、大阪府立大手前高等学校において行なわれました。協力会としては、中野俊勝会長、辻本昭信氏、松本弘氏、牧野が参加しました。

総会の冒頭、来賓の挨拶で中野会長が研究会員への激励を行ない、2009年より始まった協力会からの「ハート トゥー ハート」の助成金を研究会の寺岡会長に贈呈しました。

研究会総会では、平成29年度の会務報告、会計報告、会計監査報告の後、平成30年度の委員が承認されました。昨年に続き委員には、若い世代が大きく増え、世代交代を感じました。

さらに、平成30年度運営方針、予算などが承認されました。本会や近畿大学からの助成金や、大阪市立自然史博物館、せんだんの会、河川財団、大阪コミュニティ財団などの協力により、研究会の活動も活発に行われているようであった。

平成29年度研究会誌もできあがっており、昨年の表紙・裏表紙のみカラー刷りから本文部分もカラー刷りとなった。

今年度の研究会70周年記念事業の概要も報告された。また、4年後(2022年)の日本生物教育会大阪大会への意気込みも感じられた。研究会活動のさらなる発展を期待したい。

#### <記念講演>

講師：同志社大学理工学部環境システム学科 教授 大園 亨司先生

演題：『授業では役に立たないかもしれない菌類の話：系統・ライフスタイル・生態』

今回の講師の大園先生は、京都大学農学研究科博士課程を修了され、主に菌類を中心とする生態学・生物多様性科学を専攻されておられる。京都大学生態学研究センター准教授を経て、2017年より現職をされている。

初めに、高校での生物の授業が実に興味深かったこと、恩師の中井一郎先生には、その後にご意見等を伺っていると、親しみをこめられ紹介された。

講演は、1. 系統・多様性、2. ライフスタイル、3. 生態・研究法の三つに分けて、時々？ユーモアを入れて、わかりやすくお話しされた。

「まずは、菌類の名を思いっただけ書き上げてください」で講演が始まった。さらに、「菌類は、現在何種あると思いますか」「菌類は動物と植物のうちどちらに近縁か」など参加者に問いかけられた。

大学生に同じことを問いかけた結果、菌類で無いものを菌類と考えていることがあることなどを話された。

菌類は、これまで約10万種が知られているが、未知種がその10倍以上はいるとのこと、150万種は存在するようだ。もっと多いとする論文もあるようである。

そして、菌類は現在の分類学では、後生動物とともに「オピストンタ」に入れられ、動物に近縁と考えられているようだ。

菌類のライフスタイルでは、菌糸と酵母の形態に関して、菌糸は陸域環境、酵母は水中生活に適すること。菌糸体の生活環の説明で、異核共存体(n+n 重相)の二次菌糸は、一つの菌糸体内に多様な核を持ち、多様な環境により適応できるようになっているようで興味深かった。

生態・研究法のところでは、講師の先生は、南極など各地で採取した落葉分解菌の種類と葉の分解力を調査されたことを紹介された。

結果として、地理的勾配として温暖な気候ほど、落葉分解菌の種類が多く分解力も高いようだ。また、リグニン分解とセルロース分解の二系があるとのことであった。

最近の研究手法として「DNAメタバーコーディング」が導入され、形態観察に比べて飛躍的な速度で検出と同定が可能となった。

詳細は、生物教育研究会ホームページなどに掲載されると思われるので省略します。

菌類は、植物体の分解において大切な部分を担っており、地球環境の維持や生態系の循環を考えるとときも極めて重要と考える。

「授業で役に立たないかもしれない菌類の話」は、ご謙遜の題ではあるが、生物の授業で取り上げるべき内容と思われた。

## 2. 平成30年度予算

収入	支出
前年度繰越金 243,521円	発送経費(第18号、第19号) 20,000円
会費・寄付金 130,000円	会費払込料金 4,000円
	事務費(コピーなど) 1,000円
	助成金 100,000円
	予備費 248,521円
<u>収入合計 373,521円</u>	<u>支出合計 373,521円</u>

## 3. 30年度『大阪府高等学校生物教育研究会協力会』会員(H30.6.1現在)

(記載順は生物教育研究会会誌役員名簿による)

(正会員)

今安達也	松田仁志	和佐真宏	江坂高志	渡邊勉治郎
萱村善彦	福坂邦男	古久保俊子	吉川 浩	河野成孝
中野俊勝	辻本昭信	松本 弘	山住一郎	奥本 隆
石崎英男	富田織江	小畑和人	田中正視	牧野修司
奥野嘉彦	大江 進	竹林隆昭	大島みどり	杉山友恵
平岡誠志	広瀬祐司	佐々木洋一	井上慎一	安井博司
				以上30名

(賛助会員)

寺岡正裕	柴原信彦	木村 進	北浦隆生	中井一郎
				以上5名

★住所、電話等の個人情報については事務局へお問い合わせください。

## 4. 会員の近況(順不同)

この欄は、振込用紙やはがき等により連絡があったものを記載します。  
皆様もどうかご一報ください。また、投稿記事も歓迎します。

奥野嘉彦

元気に過ごしております。

大島みどり

皆様お元気ですか？私もお陰様で元気に過ごしております。現在フルタイムで、エルカレプラスという知的障がい者の高卒後の学び後期で楽しく仕事をさせて頂いています。

河野成孝

70周年、すごいですね。大阪の研究会の底力を感じます。

安井博司

ご案内ありがとうございました。身近な自然の観察にできるだけ出かけるようにしています。

柴原信彦

今年は研究会70周年の年です。11月17日の式典には、よろしく申し上げます。

寺岡正裕

いつもお世話になっております。今年度は70周年記念事業の年です。先輩方、よろしくご参加、申し上げます。

古久保俊子

研究会70周年、おめでとうございます。「1944-1988 40周年」と記された重さ500グラムの鉄製文鎮は、以来手放せない愛用の品となっています。年月の経過をしみじみ味わっております。

福坂邦男

「協力会だより」を楽しく拝読させていただいております。「70周年に向けて」の記事に奄美現地研修の予定とありますが、44年前（1974）の奄美大島採集見学会を思い出しています。

辻本昭信

小さな寺の住職をしながら、山歩きや旅行、同窓会等の飲み会を元気に楽しんでいます。6月18日の地震は、高槻が大きなニュースになりました。震央が私の家から3、4キロのところでした。すぐ近くで、火事があり全焼しました。また、道路の水道管が破裂して水浸しになりました。児童が亡くなった小学校も近くです。我が家は古い寺なので、庫裏の棟瓦がかなり落ちました。とりあえずブルーシートをかぶせてもらっています。あちこち壁が落ち、ガラス器や花器が割れました。地震災害は、いつかは起こるものとは思っていましたが、今回はこれくらいで済み、ほっとしています。

## 5. 協力会役員と事務局、

- ・会長・・・中野俊勝                      ・副会長・・・牧野修司
- ・幹事（事務、会計、会計監査）・・・松本弘、梶村重次、大島みどり、辻本昭信
- ・賛助会員代表・・・寺岡正裕、柴原信彦
- ・事務局（辻本昭信）電話072-675-1710    メール [s.tsujimoto@tcn.zaq.ne.jp](mailto:s.tsujimoto@tcn.zaq.ne.jp)  
研究会のホームページ (<http://www.omnh.net/seiken/>) に「協力会だより」を掲載